

学習のつまずきを解消する取組で「主体的な学び」の実現

呉市立昭和西小学校

要因分析 → 学びをつなぐ

つまずきの
焦点化

手立て

自立した
学習者へ

昭和西小学校では、全ての児童が基礎学力を身に付けられるよう、学習のつまずきを把握し、解消する指導方法の研究を進めてきました。学習につまずきのある児童の主体的な学びを実現するために組織的に取り組んできたことをお伝えします。

つまずきの
焦点化

学習のつまずきをどのように捉えるの？

実態把握

何につまずいているの？

なぜつまずいているの？

他の手立ては？

どんな手立てがあるの？

どうやって要因を探るの？

本当に必要な手立てなの？

学習のつまずきの要因は、学年が上がるほど複雑化してくるため、児童が根本的に何につまずいているのかを捉えにくく、要因を明らかにすることも困難になります。さらに、手立てを考えたものの、本当に必要な手立てだったか、他にも有効な手立てがあったのではないかなど、いくつかの課題が見えてきました。そこで、要因に即した手立てを講じるために、つまずきの焦点化に取り組みました。

つまずきの焦点化と要因分析



手立て

授業で、効果のあった手立ては？

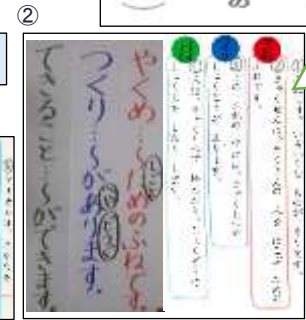
第1学年：国語科の授業「いろいろなふね」

取組前

内容の大体を捉えることができない。

手立て

①

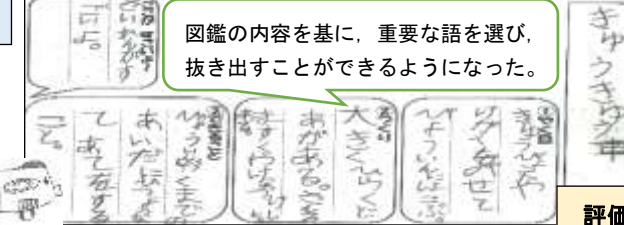


①スリットで、文のまとまりを意識。
②観点ごとに色分けしたキーワードを基に読み取らせる。
③マス目のワークシートを準備する。

レディネステスト

大事なことを正しく抜き出すことができない。

取組後



図鑑の内容を基に、重要な語を選び、抜き出すことができるようになった。

評価問題

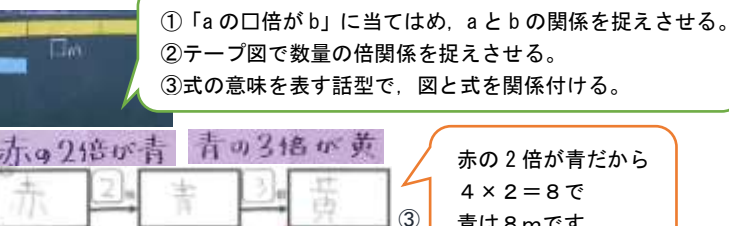
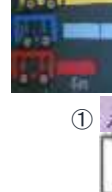
第3学年：算数科の授業「何倍でしょう」

取組前

図と式を関連付けることが難しい。

手立て

②

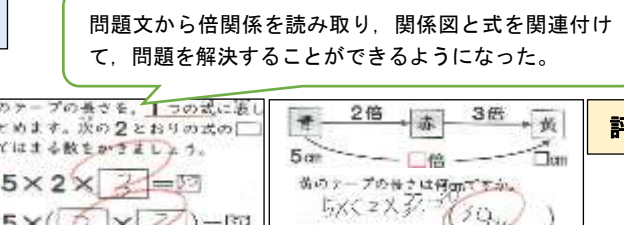
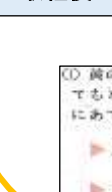


①「aの口倍がb」に当てはめ、aとbの関係を捉えさせる。
②テープ図で数量の倍関係を捉えさせる。
③式の意味を表す話型で、図と式を関係付ける。

レディネステスト

かけ算の意味を考えて立式することができない。

取組後



問題文から倍関係を読み取り、関係図と式を関連付けて、問題を解決することができるようになった。

評価問題

自立した
学習者へ

学びをつなぐ取組は？

授業で学んだことを確実に定着させるために、家庭学習はとても重要です。しかし、学習につまずきのある児童は、宿題をやりようと思っても「自分の力だけで宿題をすることができない。」「難しくて、途中であきらめてしまう。」「など、学習習慣の定着にも課題が見られます。そこで、基礎的・基本的な内容の定着を目指して、学習につまずきのある3～6年生の児童を対象に、朝と放課後の個別指導を実施しています。

担任以外の個別指導

一人も見逃さない指導・全教職員で継続中

ドリルタイム

8:15～8:30



正しく計算できるようになりたい！

文章問題が得意になりたい！

つまずきに関連する内容（前学年・前単元）の復習を計画的に取り入れることで、基礎的内容の定着を目指します。「分かった」「できた」などの、小さな成功体験の積み重ねが、学習意欲の向上につながっています。

放課後学習会

15:45～16:30



問題の解き方を教えてほしい！

自分の力で宿題ができるようになりたい！

その日の宿題をもって理科室に集まります。問題の意味を考えながら、確実に宿題をやり遂げることを目指します。一人も見逃さない個別指導で、学習習慣の定着にも効果が見られます。

☆色々な先生に、分かりやすく教えてもらえるので問題の意味が分かるようになったよ。
☆算数が苦手だったけど自分の力でできる問題が増えたので、算数が好きになったよ。
☆自分のペースで、じっくり考えるようになったよ。



学びのつながりを見る化

★のびっこタイム(8:15～8:30)★
ねらい：基礎的内容の理解や計算技能の定着を図る。

算数科 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月
1年	・数と数字	・何曜日 ・いくつといくつ	・いろいろな形 ・増えたり減ったり ・たし算・ひき算	・ひき算 ・かずらべ
2年	・表とグラフ ・時刻と時間 ・たし算とひき算	・長さ ・たし算とひき算	・図を使って考えよう ・100をこえる数	・かさ ・どんな計算になる
3年	・九九の表とかけ算 ・わり算	①「1桁でわるわり算の筆算」の学習の前に(第4学年)	・時と分	
4年	・角とその大きさ ・折れ線グラフ	・1桁でわるわり算の筆算 ・一億をこえる数	・一億をこえる数 ・垂直平行と四角形	・小数 ・算数ラボ
5年	・整数と小数 ・体積	・比 ・小数のかけ算	・小数のわり算 ・合同な図形	・合同な図形 ・人文学 ・どんな計算になる
6年	・対称な図形 ・文字と式	・分数×分数 ・分数÷分数 ・分数×小数	②ドリルタイムで前学年の既習事項を復習します。	

のびっこタイム実施計画(4)年

	4月	5月	6月	7月
重点取組内容	1桁でわるわり算の筆算に向けて	1桁でわるわり算の筆算	一億をこえる数	小数
前学年や前単元の内容	たし算とひき算の筆算② かけ算・わり算・あまりのあるわり算③	たし算とひき算の筆算② かけ算・わり算・あまりのあるわり算③	100をこえる数② 1000をこえる数③ 一万をこえる数③	小数③

③宿題で授業内容と既習事項を復習し、定着を図ります。

担任の放課後学習会

自分の力に応じて学べる場の設定

各学級でも、自由参加で放課後学習会を行っています。児童は、授業で分からなかった内容を質問したり、苦手な内容を中心に学習を進めたりしています。担任は、個の成長に目を向け、「できていること」や「良さ」を認めながら、さらに伸ばしてほしい内容を具体的に指導しています。

☆自主学習では、いつも計算練習ばかりしていたけど、学習したことをさらに調べたり、ポイントを自分の言葉でまとめたりできるようになったよ。
☆難しかった内容をすぐに質問できるので、苦手な内容を克服することができたよ。